



市民図書館セミナー利用

酒井 信幸

**問** 28年度現時点でのセミナー利用の使用件数は何件になるのか。

**生涯学習課長** 読み聞かせボランティア団体などの研修会で、これまでに78件、1173人の方々が使用しています。

**問** 市民図書館セミナー利用の使用を、なぜ講義や講演に限定するのか。

**生涯学習課長** 市民図書館には設置目的があります。市民の教養、調査、研究等の生涯学習活動に資する公共施設ということで、セミナー利用は、郷土の歴史を学ぶ学習の場を確保する目的に沿って貸し出しています。

一般開放すべきと思うが

**問** セミナールームを一般や団体等、図書館に関係する研修会や会議には貸し出すが、それを含まない会議に貸し出さないのは理解できない。

**市長** 基本的には学習の場としての施設ですので、設置条例に沿って使用していただきたいと思いません。一般利用については、柔軟に

対応したいと考えています。

**問** 図書館のホームページで、夏休みと冬休みにセミナー利用を自習室として開放しているとのことですが、いつから開放しているのか。

**生涯学習課長** 28年の夏休みから始めています。8月土・日曜日の8日間が41名が利用しました。

**問** セミナールームが4室あり、年間の利用が78件、多いとは思えない。巨費を投入した建物なので、使用規定を改善して市民に開放する必要があると思うがどうか。

**市長** 基本的には、図書館は図書館として使用していただくのが原点だと思えますが、できるだけ柔軟に使用いただけるよう対応していきたいと考えています。



岩沼市民図書館



防災力向上

布田 恵美

**問** 今回創設する防災士の資格取得助成制度の内容について伺う。

**総務部長** 自主防災組織等の推薦により、防災士の資格取得を希望する方に1人4万円を限度として助成したいと考えています。

**問** 受講対象者の規模(人数)や、年齢等はどのように考えているのか伺う。

**防災課長** 受講対象者は、自主防災組織等でリーダーとして活躍している方を想定しています。規模は29年度25名程度となります。

**問** どのような形で資格取得助成制度の内容や推薦について提示していくのか、その方法を伺う。

**防災課長** 自主防災組織や町内会の皆さんに、防災士とはどういうものかをまずお知らせします。

続いて研修や試験を受けることについての手続きをお知らせします。

その後、自主防災組織等から推薦された方の中から、25名と考えています。

**問** 防災意識の高い方々が多数いて、25名の枠を超えた場合の対応

はどのようなになるのか。

**防災課長** 25名を超えた場合には、その動向を見極めながら、次年度もこういった助成ができるか検討させていただきます。

防災士資格者の組織化を

**問** 既に資格を有する市民と今後防災士資格取得者において、(仮)岩沼市防災士会といったような組織を構成してはどうか。また資格取得後の研修の機会を重ね、災害時の後方支援要員として育んではどうか。

**防災課長** 防災士の皆さんの情報共有の場、そして市防災担当との連携等は望ましいと考えていますので、いろいろ研究させていただきます。

